

艦隊これくしょん 淫語ドラマCD

【鈴谷】

【鈴谷】

「チーッス、鈴谷だよ♪ 提督お疲れい♪」

【鈴谷】

「そんでえ？ こんな時間に鈴谷を呼び出してなんの用事？？え？ 『わかってるクセに』って？ えー？ 鈴谷わっかんないなあ♪wちゃんとお、クチに出して言ってくれないとお、わっかりつませーん♥」

【鈴谷】

「はいー？ なんですかー？ ふむふむ… 『ストレスが溜まったから？ 鈴谷にリフレして欲しい』ってー？ はいー？ なんですかーそれー？ マッサージかなにかあ？？もつとハッキリ言いなよ♪提督う？きさまーっそれでも軍人かあーっ？ なんてね♪wひひひw」

・鈴谷

● 出だし

【鈴谷】

「はあーいっ！！ 『鈴谷ちゃんとエッチな事したいです』
♥ 提督からのリクエストでしたあゝ♥こんな娘みたいな年の離れた艦娘相手に才力ネ払ってセーヨク処理なんてさゝ私みたいな若い子じゃないとダメとか言ってるけどゝ、提督マジでヘンタイだよねいゝw」

【鈴谷】

「他の子達が今のテートク見たらなんて思うかなあ？w熊野あたりが見たらひっくり返るかもねーw」

【鈴谷】

「え？ 駆逐艦達に欲情しないぶんマシ？ え？ ちよつとおーそれマジで言うてるうー？あのさ、世間から見たらゼンゼン変わんないって！ どっちもロリコンだから！自覚した方がいーよ、ホンキでっ！ このヘンタイロリコン提督！」

【鈴谷】

「はい、ほんじゃ、いつもどおり、鈴谷リフレはニコニコ現金明朗会計♡前払いでお願いしまっす♡ チャリンチャリンw」

【鈴谷】

「はい1' 2' 3枚つと・・・あざーっすw まいだり♡ テートクも給料少ないのに大変だね♡ ま、私はもーかるからいーけどねっ♪」

●見抜き

【鈴谷】

「じゃ、どーする？ ナニする？ えー、アレ？ アレなん？ テートクもアレ好きだね♡ ♪ じゃあーはいっ、その床に正座してっ♡」

【鈴谷】

「うっわー、ズボン完全にテント貼ってるじゃん♡ 自分の艦隊の艦娘相手にこんな股間膨らませてきつもー☆」

【鈴谷】

「ちよつと提督うゝ、パンツん中どーなってるか見たいから脱いでくれないー？ えっ私に脱がして欲しいって？うえー、絶対ヤダ！ そーんな先走り液ついたパンツ触りたくもないしゝ！」

【鈴谷】

「ほおーらっ、脱ーげッ♡
脱ーげッ♡ 脱ーげッ♡
脱ーげッ♡」

【鈴谷】

「うわw マジで脱いだw
ええー？ ちよつとちよつとおゝ提督うーwなーんでそんなチンポギンツギンなわけえ？」

【鈴谷】

「もしか鈴谷に見られてハッジヨーしまくり？ うわゝキツモゝゝwいつも思うけど、ほんとキモいなーウチの提督はあり。ちよつとそんな相手とセックスとかマジカンベンだわーw」

【鈴谷】

「あw なに本気にした？w
やだ、そんな顔しないでよ
♥大丈夫だつて！ ちゃー
んと、いつもどーり、やらし
たげるからあー♥でもっ、
そーんかあわしいー、おっこ
づっかいーヨロシクうー♪
ひひひっ♥」

【鈴谷】

「さあさあ、ほんじゃー毎度お
なじみ！鈴谷ちゃんの見抜き
シヨーはじめまあすっ！
パチパチパチーwこの航空巡
洋艦鈴谷があー、極上オカズ
になったげるからー♥とりま
シコシコー発抜いて、落ち着
きなよ、提督ー？」

【鈴谷】

「はいはい♥ 慌てなさんなっ
てw そんなに見たいんだ、
もー♥」

【鈴谷】

「じゃ、スカート…めくるよ
う？ いーい？ よおーそ
ろおー…」

【鈴谷】

「じゃじゃ〜ん！ 鈴谷
のおー、ㄹおぱんつだよー
んっ♪」

(衣擦れSE)

【鈴谷】

「あの一、ちよつとおー…そんな鼻息荒くしてギョーシしないで欲しいんですケド〜ほんつとき、オジさんって、ㄹパンツが好きだよねえ〜♡え？他でもこんな事してるのかって？さあ〜どっかな〜♡ひっひっひっひ♡」

【鈴谷】

「ほおら、今日のパンツは純白だよーw 提督みたいな女の子にモテないクンはこーいうのがスキっしょー？ …やん、すっげジロジロ見てる〜w」

【鈴谷】

「そんな見てもお、中身スケて見えたりしないかんねー？なに？ 『鈴谷が履いてるパンツってだけでコーフンする』って？うわあゝゝw 呆れるわこのおっさんw 憲兵さーん？ここにヘンタイがいますよーw」

【鈴谷】

「しかし、毎度毎度見てるのに、なんでこんなに嬉しそうにパンツ眺めるかなあゝ？オヤジのキモチはわかりませんわゝw」

【鈴谷】

「えー？ なになににゝ？ 次はなにが見たいのゝ？ ん♪ 鈴谷のパンツめくってえゝなにが見たいのお？ 言ってみてえゝゝ？」

【鈴谷】

「お…？ お、なにい？ おま
ん…？ えー？ 聞こえない
なあ♪もっとおっきな声で…
隣の部屋に聞こえるくらい叫
んでみてくんなきや見せたげ
なーい♪」

【鈴谷】

「せーのっ…『お・ま・ん・
こ』♪ はいっ、さん、はい

【鈴谷】

「うっひゃひゃひゃっ！ テー
トクゝ、声でかすぎいゝw
ウケるゝ♥」

【鈴谷】

「そんじゃあ…パンツめくる
よおゝ♥裾をくいとめく
るから見ててねいゝ♥」

【鈴谷】

「サン、ニー、イチ…」

【鈴谷】

「ほいっ♡ マンコご開帳♡
ほおら…提督の大好きな
マンコだよー♡好きなだけチ
ンポしごいていーかね♡
って…あは♡ もうシコシ
コしごいてんじゃんw」

【鈴谷】

「うっわw ワンちゃんみたい
に舌出して、息弾ませて、気
持ちよさそくにしちゃって♡
ねえねえ今どんなキモチ？
自分の艦隊の艦娘になじられ
ながらチンポしごくのってど
んなキモチ？」

【鈴谷】

「どーせさあ…今日もここに
…ヌプつと入れてえ…ドピュ
ッ♡ て発射したいんで
しょー？」

【鈴谷】

「うわピクツってなった！ 想像してコーフンしたわけ？ ひくわあーw ねえ…いつつもそんな事ばかり考えてるんでしょお？ 鈴谷やあ、熊野やあ、三隈や最上なんかのお尻や脚をえっろい目で眺めてるもんねえ…♡」

【鈴谷】

「ふふふーんw 作戦会議した後お、司令室で鈴谷達の事をオカズに、オナニーしてんのも知ってんだからあ…♡ テー tok の机のゴミ箱にい…くっさいティッシュが増えてるもんねえ…♡ いひひ♡ 写メも撮ってあるよー♡」

【鈴谷】

「ほらほらあっ♡ 艦娘にお金
払って、おまんこ見せても
らってオナニーしてる、ドエ
ロおっさん提督うっ♡作戦よ
りも、チンチンシコシコズリ
ズリすることばかり考え
て、申し訳ないと思わない
のお？ごめんなさいって言っ
てみ？ ほらあ、『ごめんな
さい』って♡」

【鈴谷】

「『私は命がけで戦ってる艦娘
達に欲情して、毎日毎日チン
ポ握ってティッシュを消費し
てる提督失格のダメオヤジで
す』って言うってみる？ ほら
ほらあ♡ …ああんっ♡
なーんでなじられて喜んでる
かなあゝこのヒト…♡ますま
すズリセンスピードアップし
てるじゃーん♡」

【鈴谷】

「…むっ…ちよっとお…提督うゝ？ …なんか、必死にチンポシコシコしすぎじゃないのお…？」

【鈴谷】

「ちよっ…ねえっ…？ …ねえってばあ…提督う…？…そんなに…鈴谷のおまんこ…見てて楽しいのお…？…な…んか、恥ずかしくなってきたんですけどー？」

【鈴谷】

「…あ、そっ…そんなにさあ…目えまんまるに開いてえ…アソコお、見ないでよお…はあっ…」

【鈴谷】

「…ンもお…ね…早く…さ、シヤセーしてよお…ほら、指で広げて…くぱあっ…ね♥」

【鈴谷】

「あんっ♡ そんな顔近づけて
…ニオイクンクンしちゃっ
てえ…鼻息こそばゆいよお…
♡提督のお…♡ 熱い息ッ♡
粘膜にッ♡ かかっているう
…♡」

【鈴谷】

「あ、スピード上がったあ…イ
キそうなんだ…？いいよ…
もっと顔近づけて…あん…
♡」

【鈴谷】

「このまま…鈴谷のお…えおま
んこ見ながら…はあっ…ザー
メンビュツクン砲撃してえ
…っ♡射精してッ♡ 提督う
ッ♡ シコシコ♡ コスコス
♡ どっぴゅん♡ いっっぱ
いブチまけてえッ♡♡♡」

射精SE

【鈴谷】

「あッ♥ 出たあ…ッ♥ 提督う、唸りながら射精したあ…ッ♥ やんっ、鈴谷の太ももにかかったあゝw ううーわ、提督めっちゃくちや放精してるうゝ♥ きんもー☆でも、ふふっ…気持ちよさそお…♥」

【鈴谷】

「まだ出すのお…？ テートクも必死だねえー…♥ 鈴谷のマンコ見てこんなに発射しちゃってえ…♥ ひひひ♥」

【鈴谷】

「うっわ！ 提督のセーシすごーい！ スライムみたいにつまんで持ち上げたら一本に繋がってるうゝ♥ ぶるんぶるんでゼラチンたっぷりゝ♥ いつもながらキョーアクだねえw」

【鈴谷】

「あーあーあーw 赤ちゃん作るための大事な遺伝子を、こおんなに無駄撃ちしちゃってまあ☆これ男としてちよつとどーなのお？んー？」

【鈴谷】

「ひっひっひっひっ♡ その顔その顔♡ 悔しそうで気持ちよさそうな表情♡ ほんと提督おもしろーい♡」

●本番

【鈴谷】

「ほーい、そんじゃお疲れっしたー！ 鈴谷はこれで退散するねえw バイバイ♡」

【鈴谷】

「おー？ なになににー？ちよつち声小さくて聞こえないー♡ はいー？ なんですかあー？」

【鈴谷】

「え？ なーに？ ホンバンしたいの？ んじゃ追加でお小遣い、イチゴかな？え？
今までそんなの言わなかったって？ベツに私はいー
よー？困るのは提督だしー
ゝ。じゃ、今日はここまでにしとこっか？」

【鈴谷】

「はい、まいだりゝ♪ 提督
決断はっやw 作戦立てると
きもそーならいいのにねw
ぷぷぷw」

【鈴谷】

「そんじゃあサービスで鈴谷が
ゴム着けたげんねゝ♥ はー
い足開いてえ♥」

【鈴谷】

「うお、もう復活してんじゃん
♥ ほおーっ、あいかわらず
性欲だけはいっちょまえた
ねえゝ♥」

【鈴谷】

「じゃあゴムつけまーす♡
ちよつともー、暴れないで
よお♡ やんちゃなチンポ
だなあ♡」

【鈴谷】

「くるくるっと…♡ ほい♡
っーけた♡ 装備換装完了♡
」

【鈴谷】

「さてさて、それじゃあ突撃い
たしましょうか♡ゼンギは
いーよー♡ もーこっちも準
備できてっしー♡ そのまま
入れちゃって♡」

【鈴谷】

「…は？ さっき提督に見られ
て鈴谷も興奮してたのかって
…？そ、そんなのどっちでも
いーじゃん！ スケベオヤジ
なんだからもー…ほら、さっ
さと入れてよお…」

【鈴谷】

「あはっ、またワンちゃんモードになっちゃったあ♡ 落ち着いてって♡ほーら、鈴谷は逃げませんよーだ♡ あ、チンポ…入って…♡」

【鈴谷】

「うんッ♡ 来っ…たあッ♡ 一度に奥までえ…っ♡ んッ♡」

【鈴谷】

「ひゃん♡ 提督、重つも…♡ ちよっとお…いつも言ってるけど、こつちのこと考え…ひあ♡ うんっ♡ あ、はっ…♡ 大っき…♡ ううん…♡ 提督うっ…♡」

【鈴谷】

「あ♡ あ♡ 腰っ♡ ガンガン叩きつけてッ♡ やん♡ ちよっ♡ 落ちっ、着い…ッ♡ あッ♡ ん、んっ…ン♡ うんッ♡ もお…提督重いー…♡ あ、ン♡ …はっ♡」

【鈴谷】

「や♥ それっ♥ 上の方こそ
るの、弱っ…あ、ひゃんっ♥
あっ♥ くう…♥ちよ、
ちよつとタンマッ♥ 体位、
変えよ…？ う、後ろから…
ね♥」

【鈴谷】

「ふあ…危なかったあ…え、な
んでもないって…ほらー、
はーやーくっ♥ あんツ♥」

【鈴谷】

「あ、ン…うんツ…ン…ちよ
い、待って…メール来たか
らあ、見るねっ…ン♥」

【鈴谷】

「ふ、は…あ、熊野からだあw
返信しよーっとw 『今、
テートクと、エンコーなう』
…っとw」

【鈴谷】

「やあん♥ 提督う…なんで腰の動き早くなってるのお…っ、はあん♥ホンバン中にッ、ケータイいじってる、鈴谷にっ♥ ムカツいたのお…？ ごっめーん♥ あんっ♥ バラしてるのおっ、熊野、ただだからあ…♥ カンベンしてえ…あ…♥」

【鈴谷】

「あっ♥ んッ♥ それもあるけどっ♥ ケータイいじってる姿がッ♥ ㇿっぽくって…興奮したってえ…♥ やだーw テートクっ、ホンット、ちょーヘンタイ、オヤジっ、だよねえっ…♥ あ、あッ♥」

【鈴谷】

「あはっ♡ 熊野からっ、ん♡
返信、んっ、来たよ♡
えーと、ナニナニ…？ う
わ、あっは♡ほれ、見て見
てえ♡ 『提督最ッ低です
わ』だってえ♡ ひひひ♡
そりやそーだよねっ♡ ン
♡最低提督、略してサイテー
トクだあ…ッ♡」

がばっというSE

【鈴谷】

「きゃん♡ 提督ついにキレ
たあ♡ また正常位ですん
のお…？ 提督重いのにいー
♡」

【鈴谷】

「『お前みたいなあっ、あ♡
ナマイキメスガキ艦娘はッ♡
あっ♡ 俺の肉棒で舐けて
やる』って♡そのメスガキ
にい、チンポハメながら言っ
てもっ♡ ふあ、ゼンゼン説
得力なさすぎい♡」

【鈴谷】

「あん、キスう…？ キスしたいのお…？ 追加、リョーキンっ、出すならあっ…いいよっ♡」

【鈴谷】

「んちゅ、ちゅ、ちゅぶ、提督う…ん、これ、提督だけの…特別オプシヨン、なんだからね…♡そこんとこ、わかってよね…♡」

【鈴谷】

「あんツ♡ おっぱいも…なめたいのお…？」

【鈴谷】

「はいっ、いーよー♡ 提督の大好きな…おっぱい、優しく食べて…♡んっ♡」

【鈴谷】

「ひゃんっ♡ おっぱいに吸い付きながら…ツ♡ 激しくピストン♡ これっ、スキっ♡」

【鈴谷】

「ふっ、ふっ…んっ、テートク、もーカンゼンに発情ワンちゃんモードっ♡」

【鈴谷】

「ほおーらっ♡ ワンって言っ
てみ♡ ワンって言いながら
チンポピストンしてえ♡ ワン
ワン♡ ワンワンッ♡ は
い、叫んでっ♡」

【鈴谷】

「んあっ！ ふあっ♡ ほんと
にワンワン必死に鳴きながら
腰振ってるう…ン♡ 鈴谷に犬
呼ばわりされて、ハッスルし
ちゃって…♡ 提督のおっ♡
ドスケベオヤジ…♡」

【鈴谷】

「もうっ♡ こんなキケン人
物っ、野放しにしてたらあ…
鎮守府じゅうの艦娘が孕ん
じゃうよお♡ だからっ♡ 鈴
谷がっ、定期的に…抜いたげ
ないとねっ…♡ ほかの子
と、しちや…ダメだからねえ
…♡ 鈴谷と、だけ、だよおっ
…？あんッ♡ ん♡ んッ♡
んんッ♡」

【鈴谷】

「あッ♥ 提督チンポ膨らんで
きたアッ♥ そろそろっ、射
精ッ、すんのッ？ ね…♥」

【鈴谷】

「いーよっ、鈴谷ん中でッ♥
好きなだけッ♥ びゆるびゆ
るっ、発射してえ…♥ あッ、
提督ッ♥ 上っかわ、擦る
の、ダメッ♥ ダメだってッ
♥ やアッ…あっ♥ 鈴谷もッ
鈴谷もッ…一緒にいッッ♥
提督う、出してッ♥ 出して
ッ…あたし、もお…ふあああ
んっ♥」

射精SE

【鈴谷】

「んッッ♥ あっ…♥ すご
…♥ 中でゴムがぶくうって
膨れ上がって…♥ やあ…ん…
みぢみぢ中を広げてるう…♥
すご…♥ 鈴谷で…こんな
に…精子い、出してるんだあ
…♥」

【鈴谷】

「は♡ はー…っ♡ …んツ…
ン…♡ …ン…♡ トクント
クンって…まだ脈打ってる…
もお…えっち…♡あ、うん
…っ、『提督、射精なう』
…っ♡ あは、ヤバ…♡
震えてケータイぜんぜん打て
ないよお…♡」

【鈴谷】

「はあーっ♡ ふう…っど。…
…提督う、ちよっとお…いつ
まで乗っかってんのさあ…！
重いって！ どいてってえ
ゝ！」

【鈴谷】

「んっ…ゴムつきチンポ出てき
たねえー…♡ さーて、どれ
どれ…？うっえ♡ ゴムたっ
ぷんたっぷんじゃーんw こ
んなのナカに出されたら絶対
赤ちゃんできちゃうねえゝ
♡」

【鈴谷】

「ほーい、きゅっと縛って…つと。まーしかし、いつもながら使用済みコンドームってエロいよねえw提督と鈴谷がイッパツやりましたってシヨーコが目の前にあんだもんねー♡そうそうw 艦娘とエンコーしましたって動かぬシヨーコがさあ♡」

【鈴谷】

「ええー、もう二発目えー？まーいーけどさー、ちよつと休ませてよお…♡ んもう、スケベ提督はしかたないなあ…」

【鈴谷】

「は？ 次はナマでしたい？やだよ、鈴谷まだお母さんになるつもりないし？ テートクなに考えてんの？そんなコトしたら二度としたげないかね！ ゴム有りセックス！ これゼツタイだから！」

【鈴谷】

「だいたいさあー、提督はデリカシー無いんだよー。もったがつかないで、ムードを大事にさあ…あつ、こらちよつとお…♡ そうというのがダメだつて…♡」

【鈴谷】

「こらあゝっ、スカートの中に顔突っ込むなあゝッ♡ ヘンタイ提督うw 写めるぞおっ♡」

●事後

【鈴谷】

「うー…提督元気すぎい…。ホント底なしだし…♡」

【鈴谷】

「ほーらこれこれ、使用済みゴムがあり、ひい、ふう、みい…うつわ、6発も♡出したねえゝ提督う…♡ お疲れさゝん♡」

【鈴谷】

「折角だし写メつとこつかw はーい、提督と並んでえゝ、はいチーズ♡」

【鈴谷】

「お、撮れた撮れた♥ この写真鎮守府の掲示板とかに貼ついたらどーなるっかな〜♥」

【鈴谷】

「ひひひ♥ ジョーダンだつてえ〜♥ はい、まいどありい〜♥ん？ ナニ？ …『本当に五千円ぽっちでいいのか』って？ えー、ベツに今そんな欲しいもん無いしさ〜そんなの気にしなくていいつてば！」

【鈴谷】

「あ、でも明日お茶おごってくんなきゃヤだからね！ 間宮さんここでパフェ！ 約束破つたらこの写真ホントに貼るかね？」

【鈴谷】

「ほんじゃあまったねえ〜…つと！ あ、そーだ。ねえねえ♥ ちよつと耳貸してみ？」

【鈴谷】

「あのさー、じつは私、来週安
全日なんだけどさーいつもの
倍出してくれたらあ…トクベ
ツ♥ ナマでさせただけでも
いーよーwいひひひ♥
まっ、考えといてね♪
じゃ、おつかれ☆い☆」

END